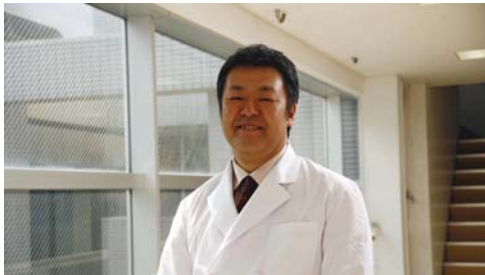


## 柔道整復科の近況報告

呉竹医療専門学校 柔道整復科 科長 川口 央修



花々が充実した美しさを誇る華やかな季節を迎えました。教室の窓からは心地よい風を触れますが、日に日に初夏の訪れが間近であることを感じます。4月早々には、あまりにも早い入学式で嘸かし驚かれたことと思いますが、ご父兄の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

早いもので既に2ヶ月が過ぎ、柔道整復科の新入生は厚い教科書に載っている各々の個性的で慣れない医学用語に戸惑いながらも、医療従事者への道を一步々々着実に前進しているところであります。入学式での採寸から少し時間がかかりましたが、やっと白衣も手元に届き、益々と医療従事者への意識が高まってきていることと思います。

さて、本校に入学されてからのこの2ヶ月は、ご家族の皆様もあつという間であったと思いますが、じっくり振り返りますと、新入生の皆さんの微々たる変化を感じ取っていただけているのではないかと思います。先ず最初に挙げられるのは登校時間の変化ではないでしょうか？ご存じのように本校には遅刻という制度がありません。出席もしくは欠席のどちらかです。本校の開門時間は8時30分ですが、既にこの時間に登校する学生も数名見受けられます。この傾向は期末試験が近づくと益々増えてきます。1限の講義は9時30分から始まりますが、柔道整復科の新入生のほぼ全員が着席して講義が始まるのを待っております。この傾向は2ヶ月間ずっと続いておりますので、皆さんが余裕を持って登校している様子が見てとれます。医療系専門職種に従事するには様々な準備が必要です。時間厳守は当然ですが、息せき切ったの施術ではより良い医療を提供することが出来ません。新入生の皆さんも学生の頃から当然のように、このような習慣を身につけていただき、ずっと守り続けていただければ嬉しいです。

つい先日の5月24日には大宮体育館で恒例のスポーツ大会が開催されました。この大会は開校平成22年度から始まり、今年で4回目を迎えております。新入生にとっては初めてのイベントで戸惑うことも多かったかと思いますが、競技を通じてクラスメートとの親交を深める良い機会であったと思います。

例年、このイベントを境に学年やクラスの垣根を越えた交流が深まり、更に充実した学生生活を営むきっかけになっています。

学生の皆さんは口々に「勉強は大変だけど、学校は楽しい。」と言います。私たち教員にとってこの言葉は正に理想とするところで、これからもそのような学校で有り続けたいと願っております。スポーツ大会が終わるといよいよ期末試験が近づいてきます。学生においては大変忙しく、ナーバスな時期を迎えることとなりますので、ご家族の皆様のサポートが必要になることも多いと思います。これからも皆様のご支援とご協力を何卒よろしくお願いいたします。